

こんな会社で
働きたい

個の可能性が力に変わる
グローバル企業編

クロスメディアHR総合研究所



はじめに

これから社会へと踏み出すあなたにとって、ファーストキャリアの選択は、人生における最初の大きな分岐点です。

就職活動とは、単に所属する組織を決める手続きではありません。「自分自身の人生という限られた時間をどう使い、世界とどう関わっていくのか」を問い直す、自己探求の旅でもあります。

私たちクロスメディアHR総合研究所は、ビジネス書の出版事業を行うクロスメディアグループの「経営と人事」に特化した研究機関として発足しました。2018年にスタートした『こんな会社で働きたい』シリーズは、地方創生を後押しする地域編をはじめ、「健康経営」「SDGs」「DEI」「成長環境」「働きがい」といった時代の要請に応じたテーマで書籍を展開してきました。

そして今回、私たちが新たにお届けするのが、本書『こんな会社で働きたい 個の可能性が力に変わるグローバル企業編』です。

私たちがいま、あえて「グローバル」というテーマを掲げたのには、明確な理由があります。それは、多くの学生や若手社会人が、いまだに昭和時代から続く「グローバル」の古いステレオタイプに縛られ、自らの可能性を狭めてしまっているという強い危機感があるからです。

「グローバル企業で働く」と聞いて、あなたは何を想像するでしょうか？「流暢な英語を操り、海外を飛び回るビジネスパーソン」「外資系企業で働く一握りのエリート」「長期間の海外駐在」——もしそんなイメージを抱いているとしたら、それは「場所」や「語学力」という表面的な要素にとらわれすぎています。

デジタル技術が高度に発達し、AIが言語の壁を軽々と越えていく現代において、「グローバル」の定義は劇的に変化しました。世界はよりシームレスになり、働く「物理的な場所」はもはやグローバルの絶対条件ではありません。

これからの時代における真のグローバルとは、国境を越えて移動することではなく、「日本にいながらでも、多様な価値観を持つ人々と協働し、自分自身の存在意義（プレゼンス）を世界基準へと広げていくこと」なの

です。

そして、その基盤となるのが、あなた自身の中にある「内なる多様性＝らしさ」です。

ビジネスの舞台が世界へと広がるほど、画一的な正解は通用しなくなります。そこで求められるのは、異なる文化や背景を持つ人々に同化することではなく、自分の軸を持ち、自分だけの視点や強みを言語化し、他者と交わせる力です。あなたの「らしさ」こそが、ボーダレスな世界で価値を生み出す最大の武器になるのです。

本書は、こうした新しいグローバルキャリアのあり方を体現し、挑戦する若者を後押しする企業を紹介しています。業界も規模も成り立ちも多様なこれらの企業から見えてくるのは、新時代を生き抜くための3つのキャリアの指針です。

ポイント1 働く「場所」の越境から、「個の価値」の拡張へ

かつてのグローバルキャリアは「海外という『場所』へ行くこと」と同義でした。しかし、ボーダレス化が進んだ現代において、グローバルとは場所の概念ではなく、「個人の価値を拡張する無数の選択肢」を意味します。

本書に登場する企業が提示しているのは、語学力や海外駐在を特権とするような古いモデルではありません。自らの興味や専門性、そして「自分らしさ」という価値を、国内という枠組みに閉じ込めず、世界中の多様なニーズやパートナーと結びつけること。すなわち、世界を舞台に「キャリアの自己決定権（キャリア自律）」を最大限に発揮することこそが、新時代のグローバルな働き方なのです。

ポイント2 「同化」から「異化」へ。内なる多様性を武器にする環境

世界を相手にするからといって、何かしらの「グローバルスタンダード（世界標準）」に自分を無理に同化させる必要はありません。むしろ、未知の課題があふれる現代のビジネスにおいて、企業が求めているのは、あなたの中にしかない「異質な視点」や「特有の価値観」です。

DEIB（多様性、公平性、包摂性、帰属性）の本質は、ただ違いを受け



入れる「優しさ」ではなく、違いをぶつけ合い、摩擦からイノベーションを生み出す「強さ」にあります。自分を取り繕うことなく、ありのままの「内なる多様性」を解放し、異なる背景を持つ人々とフラットに協働できる環境。それこそが、あなたのポテンシャルを爆発させる真の成長ステージとなります。

ポイント3 足元の強みを世界へ放つキャリア構築

世界へ羽ばたくことは、けっして自分のルーツを捨てることではありません。むしろ、自分自身の背景（ローカル）に深く根ざすことなしに、世界に新しい価値を提示することはできません。

日本で培われた感性、固有の文化から生まれた細やかな視点、あるいはあなた自身の個人的な原体験。それら足元の「ローカルな強み」を深く理解し、枠にとらわれずに広く羽ばたくこと。この「個（ローカル）」と「世界（グローバル）」を往復し、結びつけるダイナミズムが、あたらしいグローバルなキャリアです。

「グローバルを意識して働く」ということは、けっして遠い世界の話ではありません。それは、半径5メートルで起きている変化に問いを持ち、自分の仕事の世界のどこかの誰かの笑顔や、社会の発展にどうつながっているのかを想像する力を持つことです。

これから社会に出る皆さんに伝えたいのは、あなたのキャリアの可能性は「地球全体」に広がっているということです。自分の内なる多様性を信じ、それを世界とどう接続していくか。その試行錯誤の過程こそが、あなただけの「人間力」を磨き上げ、かけがえのない人生の財産となっていきます。

ページをめくれば、すでに世界を舞台に自分らしさを発揮し、イキイキと働く先輩たちのリアルな姿や、それを全力で支援する企業の熱い想いが綴られています。

本書が、あなたの古い「グローバル」の固定観念を取り払い、自分らしいキャリアを描くための新しい羅針盤となることを、心から願っています。

クロスメディアHR総合研究所

INDEX 目次

はじめに 3

PART 1 これからの「グローバル」は

巻頭特集

「“知”の還流」に飛び込め。
行動の積み重ねの先にある
「グローバル・リーダー」 12

国際教養大学

理事長・学長 モンテ・カセム

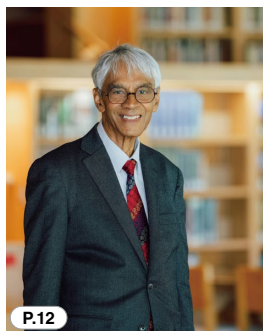
デジタル時代、
キャリアはグローバル基準で
考える 24

株式会社JTB

常務執行役員 人事担当(CHRO) 大八木 勢一



どう変わるのか



**世界の中での日本を知る。
グローバルを背景に
価値貢献するための思考**…… 37

ネスレ日本株式会社

常務執行役員 飲料事業本部長 島川 基

INDEX 目次

PART 2 個の可能性が力に変わる



File.1

日本ロレアル..... 52

File.2

幸和産業..... 64

File.3

大平洋機工..... 76

File.4

帝國製薬..... 88





グローバル企業



File.5

サンケイエンジニアリング 100

File.6

センコーアドバンス 112

File.7

テルモ 124



おわりに 136